

平成 29 年度 「学校教育自己診断」の結果と考察

1. 実施時期・実施方法

- 【保護者】 11月中旬～12月上旬に配付、回収
- 【児童生徒】 小・中学部：児童生徒の実態に応じて授業内で実施  
高等部：12月上旬に各学年で実施
- 【教職員】 11月中旬～12月上旬に配付、回収

- ・基本的に昨年度までと質問項目を変えずに経年変化を比較した。
- ・教育庁の指示により「いじめ」に対する項目を追加した。
- ・保護者への提出呼びかけは、締め切り前に未提出者へ対して行った。

2. 提出率（過去3年の比較）

	学部\年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
保護者	小学部	80.1%	74.2%	74.0% (74/100名)
	中学部	80.9%	81.5%	72.9% (62/85名)
	高等部	63.5%	63.3%	70.4% (81/115名)
児童生徒	小学部	17.9%	11.2%	13.0% (13/100名)
	中学部	73.5%	82.7%	95.3% (81/85名)
	高等部	79.1%	81.7%	75.7% (87/115名)
教職員		100.0%	100.0%	100.0% (120/120名)

3. 結果報告（集計は別表）

●＜肯定的回答（A.よくあてはまる+B.ややあてはまる）の項目＞に関して

**保護者** 全30項目中

90%台・・・21項目 80%台・・・7項目 70%台・・・2項目

- ・昨年度と同様に肯定的な回答が多数であった。
- ・昨年度より90%台であった項目が1つ増え、70%台であった項目が1つ減った。
- ・今年度新たに加わった「いじめへの対応」に関する項目（項目9）も、92%が肯定的回答であった。
- ・全項目通して、昨年度と比べて10パーセント以上のアップダウンは見られなかった。

**児童生徒**

【文章版】 全24項目中

90%台・・・1項目 80%台・・・8項目 70%台・・・10項目 60%台・・・4項目  
50%台・・・1項目

【イラスト版】 「はい、いいえ、わからない」のうち、「はい」を肯定的項目ととらえた。

全8項目中 90%台・・・2項目 80%台・・・2項目 70%台・・・4項目

- ・概ね昨年度と同様に、肯定的な回答が多数であった。
- ・昨年度と比べて、肯定的な回答が10%以上ダウンした項目は以下の通り。  
項目2「先生は、みんなのことを理解してくれている。」 92%→82%  
項目4「学校目標の『笑顔きらめく元気な学校・君の得意を見つけ伸ばそういいところ・

つながる心つなげよう未来へ』を知っている。」 69%→57%

項目 19「教室や特別教室・体育館などは授業や生活がしやすいように整備されている」  
85%→74%

- ・昨年度と比べて、肯定的な回答が10%以上アップした項目は以下の通り。  
項目 7「興味・関心、適正・進路に応じて選べる授業がある」 65%→75%
- ・イラスト版はすべての項目で、肯定的回答がアップした。

**教職員** 全 52 項目中

90%台・・・22項目 80%台・・・14項目 70%台・・・12項目 60%台・・・2項目  
50%台・・・2項目

- ・肯定的な回答が多数であった。
- ・昨年度と比べて、肯定的な回答が10%以上ダウンした項目は以下の通り。  
【学校経営に関するもの】項目 1「校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにし、学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。」 75%→59%
- ・昨年度と比べて、肯定的な回答が10%以上アップした項目は以下の通り。  
【学校経営に関するもの】項目 6は「この学校では、児童生徒の生活の場として、適した教育環境が整備されている」66%→78%  
この項目は、昨年度までの「ゆとりと潤いのある教育環境」から文言を変更している。

●<否定的回答（C.あまりあてはまらない+D.まったくあてはまらない）の項目>に関して

**保護者**

- ・全 30 項目中、否定的回答が30%以上の項目はなかった。

**児童生徒**

- ・否定的回答が30%以上の項目があった。 全 24 項目中 5 項目  
項目 4 「学校目標の「笑顔きらめく元気な学校・君の得意を見つけ伸ばそういいところ・つながる心つなげよう未来へ」を知っている。」 43%  
項目 12 「担任の先生以外にも、保健室などで気軽に相談できる先生がいる。」 31%  
項目 20 「学校で使う道具や器具が壊れたときは、すぐに修理したり取り替えたりしてくれる。」 32%  
項目 22 「近隣の学校や地域の人々との交流の機会がある。」 37%  
項目 23 「学校のホームページはわかりやすい。」 40%

**教職員**

- ・否定的回答が30%以上の項目があった。 全 52 項目中 4 項目  
【学校経営に関するもの】  
項目 1「校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにし、学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。」 41%  
項目 2「学校運営に教職員の意見が反映されている。」 43%  
項目 3「中期的（3か年）な目標を踏まえ課題を明確にした「学校経営計画」を策定し、PDCAサイクルによる学校経営を推進している。」 31%  
項目 4「教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。」 40%

#### 4. 今後の課題について

- 児童生徒への学校目標の周知**・・・児童生徒が学校目標を知っているかの項目が2年連続低かった。本校の学校目標は、児童生徒が親しみやすい言葉で作られているので、今後は子ども達へ伝える機会を意識して設けていきたい。来年度は、指導部が中心となって児童生徒会に働きかけ、全校が集まる機会に学校目標を伝えるようにしたい。また、廊下の掲示板等を活用し、学校目標を書いた掲示物を工夫する。
- ホームページ改善**・・・現在、学校HPについては、より見やすくするためにデザインやコンテンツの更新作業にとりくんでいる。スマートフォンでの閲覧にも対応できるように表示方法も工夫される予定である。内容の充実についても、今後、総務部情報グループ中心に検討していく。
- 生徒に対する相談体制**・・・生徒に対し、担任以外にも相談できる場のあることを周知する必要がある。年に数回来校する臨床心理士への相談のほか、校内においても支援部の担当者が「個別支援」といった形で話を聞くことができる。また日常的に、担任以外の学年教員や部主事・保健室の養護教諭などが必要に応じて相談相手となれるよう、生徒にこういったニーズがあることを理解し、話を聞く心構えを共有していく。
- 教職員より出された「学校経営に関する」課題**・・・「校長のリーダーシップ」について、保護者アンケートの結果は82%が肯定的であり、その他の項目も含め保護者の満足度は総じて高い。校長から教職員への発信は「校長だより」を通して行われていることで、校長の伝えたい事柄は伝わっていて保護者の満足度の高い学校経営はできているが、教職員にとっては校長の「生の声」をもっと聞きたいということかもしれない。現場の教員の声が、学年主任・学部主事・首席等を通して上手く校長に伝わり、校長の思いも同様に現場へ伝わっていくような場の設定も必要である。これにより「学校運営への教職員の意見反映」についても改善につなげたい。「人事及び業務分担」については、今年度新たに分掌を再編したところであり、業務内容が大きく変わったことで、負担に感じた面もあったと推測される。よりバランスの取れた人事及び業務分担をめざし、分掌長からのヒアリングをなおいっそう丁寧に行い、来年度に向けて調整を試みる。